

ホームドア・ウォッシャー - 軌道側 (線路側) - の試験を行いました

JR東日本メカトロニクス様の研修施設「JR東日本メカトロニクス機械設備技術研修センター（通称：メカトレ）」にて、ホームドアの線路側を洗浄するロボットの試験を実施しました。

現在、この清掃作業は約40名の人員で一晩に2本行っていますが、本ロボットを用いることでより少人数で、10両編成のホームドアを3本以上清掃できる見込みです。

今回試験を行ったロボットは、東京駅や上野駅で稼働しているホーム側洗浄用のロボットとは異なり、アームを外側に伸ばすための組み立て作業が必要です。そのため、組み立てに要する時間の計測や、UVマーカーペンを用いた疑似汚れの洗浄試験などを実施しました。

今後は実際の駅での稼働試験等を進め、実用化に向けて引き続き取り組んでいきます。



業務推進課
金井課員



ホームドア・ウォッシャー軌道側



ホーム側から見た様子



線路側から見た様子

「TAKANAWA GATEWAY CITY ロボットフェス」に参加しました

2月20日から22日までの3日間、JR東日本が主催する「TAKANAWA GATEWAY CITY ロボットフェス」が開催されました。アクセスからは高輪ゲートウェイシティ事業所とCBM推進本部が説明員となり、清掃ロボット4機種を展示してデモンストレーションを行いました。

初日には報道関係者向けの公開も実施され、各社から高い関心が寄せられました。一般公開では、お子さまがロボットの動きに興味津々で見学する姿が非常に印象的でした。普段は人前に出る機会の少ない清掃ロボットですが、今回のイベント期間中は約7,000名のお客さまにご来場いただき、清掃ロボットの魅力や役割を多くの方に知っていただく貴重な機会となりました。



技術開発課
折井課員



写真左から「KIRA CV50」「R3-Vac」「HAPiiBOT」「STRIVER II」



報道関係者向けの公開の様子